

2016年5月17日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社

「平成28年度 東日本鉄道文化財団地方文化事業支援」 承認書贈呈式の開催について

JR東日本八王子支社では、支社管内の貴重な文化遺産や伝統芸能などの保全と継承を図るため、公益財団法人東日本鉄道文化財団を通して支援を行っています。このたび山梨県甲州市にある雲峰寺の庫裏保存修理事業について支援を行うことが決定しました。つきましては、2016年5月30日(月)に支援することをお伝えする承認書贈呈式を執り行います。

1 支援事業名 「雲峰寺庫裏保存修理事業」

2 承認書贈呈式

- (1) 日時 2016年5月30日(月) 14時30分～15時20分
- (2) 場所 裂石山雲峰寺(さけいしざんうんぼうじ)
(山梨県甲州市塩山上萩原2678番地)
- (3) 主な出席者(敬称略)

- ・雲峰寺庫裏保存修理事業実行委員会 実行委員長 佐竹 明心
- ・甲州市 市長 田辺 篤
- ・公益財団法人東日本鉄道文化財団 事業部長 石川 晃
- ・東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 八王子支社長 内田 海基夫

3 雲峰寺の概要

雲峰寺は臨済宗妙心寺派に属し、寺伝によれば行基の開創といわれる古刹である。庫裏の建立年代は明確ではないが、古文書によれば1558年(永禄元年)武田信玄が武運長久を祈願する文書を納めており、完成はこの頃と推定される。甲斐源氏の祈願所として武田氏から深く崇敬されており、その庇護を受けて寺を整えてきた。

本堂、書院、仁王門、庫裏は国指定の重要文化財に指定されており、1996年に新設された宝物殿には、山梨県指定文化財である孫子の旗、諏訪神号旗(すわじんごうき)、日の丸の御旗(ひのまるのみはた)、馬標旗(ばひょうき)といった武田家の家宝が保存されている。

4 事業内容

1999年に屋根西面の葺き替えを行ったが、現在は東西両面の劣化が進み葺き替えが必要になっている。また、畳はいずれも経年劣化により畳表の摩耗褐色、畳床の弛みなどが生じているため、合わせて修復を行う。

参考写真

【雲峰寺庫裏 正面】



【屋根西面】



破損がひどく雨漏りも生じている状況

【棟の状況】



竹材の老朽が目立ち全体に西方へ傾斜している。

【畳の状況】



経年による摩耗や褐色が見られる。

5 八王子支社エリアのこれまでの支援事業

2000～2002年度	八王子車人形映像記録保存事業（八王子市）
2003～2005年度	山梨近隣に伝わる伝統舞踊等の記録・上映事業（山梨県）
2006～2008年度	ぶらり青梅宿保存事業（青梅市）
2009年度	天童山景德院修理維持管理事業（甲州市）
2010～2011年度	大善寺文化財修復と伝承環境整備事業（甲州市）
2012年度	一蓮寺文化財修復と伝承環境整備事業（甲府市）
2013年度	宝鏡寺仁王門修復事業（大月市）
2013年度	笹子追分人形芝居保存継承事業（大月市）
2014年度	円光院文化財修復と伝承環境整備事業（甲府市）
2015年度	東光寺仏殿修理と伝承環境整備事業（甲府市）